

新しい公共の場づくりのためのモデル事業(2次募集・震災案件) 申請一覧

発表順	事業概要		事業主体		
	事業名称	概要	協議体、行政、団体名	代表者	対象地域
1	松江・島根・市民ネットワークによる震災支援事業	<p>松江市民のネットワークによる、被災により避難で来られた方々への支援、東北被災地の支援を幅広く、継続的に進めるとともに、これらの取り組みを通じ、松江で大災害が起きた際の市民による支援体制を構築する。さらに、この取り組みを島根県内に伝播すべく、各地で講演会や、情報交換会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災して松江市・県内に来られた方へニーズ調査を実施し、必要な支援を行う 被災地への人材派遣、ボランティア派遣などの支援 震災支援情報交換、震災支援イベント 	<p><協議体名> 東日本大震災 松江・島根支援協議会(仮称) <団体> 島根NPO連絡協議会 <行政> 松江市(市民生活相談課 / 保健福祉課 / 防災安全課)</p> <p><主な会議体構成団体></p> <p>島根県社会福祉協議会、松江市社会福祉協議会、松江地域予算ゼロ課、松江市企業ボランティアネットワーク</p>	<p>会長 吉田篤志 代表幹事 吉田篤志 市長 松浦正敬</p>	<p>県内全域 (主に松江市)、及び 東北被災地</p>
2	こころコミュニティー推進事業	<p>紫の風と島根県が中心となり、東日本大震災により生じた風評被害や差別事案、置き去りにされつつある社会的弱者(震災孤児をはじめとする子ども、性的少数者)に対する心のケア及び生活再建等の課題解決を目的に、多様な主体と連携した取り組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災地の子どもへのケア <ul style="list-style-type: none"> 震災孤児への通学等に係る支援 冬休み等を利用した益田市でのホースセラピー体験活動(心のケア) 県内へ避難してきた子どもへのケア <ul style="list-style-type: none"> 子どもほっとライン「もしもしにゃんこ」 絵画セラピー、アソビマンショー 性的少数者へのケア、傾聴ボランティアの養成 	<p><協議体名> こころコミュニティー推進協議会(仮称) <団体> 紫の風 <行政> 島根県環境生活部人権同和対策課</p> <p><主な会議体構成団体></p> <p>NPO Child Pictures Bank、NPO法人ほっとすぺーす21、益田市人権センター、松江地方法務局人権擁護課</p>	<p>会長 上田地優 代表 上田地優 課長 足立 誠</p>	<p>県内全域 及び東北 被災地</p>